

(様式第2号)



## 病院薬剤師卒後研修プログラム概要版



病院名 水戸赤十字病院  
所在地 水戸市三の丸3丁目12番48号



### 1 プログラムの名称

水戸赤十字病院薬剤師卒後研修プログラム

### 2 プログラムの目的と特色

1年目に薬剤師としての基礎的な業務を一通り習得できるプログラムを設置。2年目以降、知識の習得度に応じて薬物療法における各診療域の認定薬剤師の指導の下、医療チームに参加して必要な知識、技能、臨床経験を取得が可能。地域において専門分野の薬物療法に精通した薬剤師を育成します。

### 3 プログラムの企画立案及び実施責任者 薬剤部長

### 4 就労環境

(1)勤務病院の宿舎	なし
(2)薬剤師賠償保険	病院において加入します
(3)学会、研究会等への参加	可(参加費等支給あり)
(4)勤務病院で指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格	日病薬がん薬物療法認定薬剤師(3人) 感染制御認定薬剤師(1人) 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師(1人) 緩和薬物療法認定薬剤師(1人)等
(5)取得可能専門・認定薬剤師 ★勤務病院 *協力病院 括弧書きは現在の当院の取得人数	★外来がん治療専門薬剤師(0人)★外来がん治療認定薬剤師(0人) ★感染制御認定薬剤師(1人)★緩和薬物療法認定薬剤師(1人) ★日病薬病院薬学認定薬剤師(6人)★研修センター認定薬剤師(1人) *妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師(1人)*NST専門療法士(2人) *がん薬物療法認定薬剤師(3人)
(6)協力病院(過去の実績)	国立がん研究センター東病院 がん研有明病院 筑波大学附属病院 茨城県立中央病院 茨城西南医療センター
(7)協力病院の宿舎	なし
(8)協力病院での給与	当院修学金貸与規程に準じます

\* 協力病院に関してはその都度、研修先施設と協議により決定します。

### 5 指導体制

プログラムが円滑に実施されるように、各専門分野の薬物療法の認定薬剤師が指導の上、研修者の研修到達度を評価します。

### 6 プログラムの計画

1年目	基本的な調剤業務、注射業務、病棟業務、製剤業務、無菌製剤業務を行います。
2年目以降	病棟業務、外来化学療法室の薬剤師業務を実施 各領域の医療チームに参加可能
4年目以降	日病薬病院薬学認定薬剤師の認定を取得。
5~6年目以降	各領域の認定薬剤師の認定を取得。 地域の薬局と連携し、専門分野の薬物療法に精通した薬剤師を養成します。

